

施策マネジメントシート ～2019年度の振り返りから2020年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中旬に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課	社会教育課			
	政策分野	子育て・教育	課長名	中里千秋			
	施策	16 社会教育の充実		重点施策の該当	2019	-	2020
施策の目的	対象	市民	意図	生涯にわたって学び続け、生きがいに満ちた豊かな生活を送ることができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時		指標の推移				最終目標値	
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値		
今後の学習活動への取り組み意欲(%)	52.7	57.1	53.5	55.0 (62.0)	64.0	66.0		

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
80.5	29.1	81.8	32.3	81.6	33.8				
重要度DI	満足度DI								
77.8	16	81.1	18.4	79.6	16.5				

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移					最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値	
生涯学習機会の充実		市民講座受講生の満足度(%)	-	88.0	87.9	93.3 (80.0)	82.5	85.0	
生涯学習機会の充実		市民講座修了生(7割出席)の割合(%)	62.0	69.8	53.6	78.5 (69.8)	72.4	75.0	
社会教育団体の育成・支援		指導者等研修会の参加者数(人)	41	29	24	20 (46)	50	50	
社会教育団体の育成・支援		各種団体や学級等の加入者数(人)	3,025	2,904	3,190	3,075 (3,040)	3,045	3,050	
社会教育環境の充実		自己啓発のための講座、研修等への参加(%)	24.4	25.2	23.5	24.6 (33.0)	37.0	40.0	
社会教育環境の充実		施設利用満足度(%)	-	52.8	46.7	47.2 (52.5)	56.3	60.0	
青少年の健全育成	9-21	補導件数(件)	12	10	3	0 (5)	3	1	
青少年の健全育成	9-21	合同補導活動参加者数(人)	59	59	56	62 (59)	60	60	
青少年の健全育成	9-21	中1ギャップ解消事業参加率(%)	24.2	17.9	8.1	-	-	-	

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体のうち特に、女性団体及び高齢者団体の会員減少により運営が困難な状況であり、組織強化が厳しい現状である。 ・民法改正後の成人式の在り方については、県内19市及び近隣町の動向も参考に検討していきたい。 ・市民講座の受講者は多いものの、受講者の固定化や指導者の高齢化等が課題となっている。学習メニューの要望調査を引き続き実施し反映させていく。また、後継者や指導者の人材育成の観点から、各種研修会への参加を要請していく。 ・社会教育施設の老朽化が進んでいる。今後多くの施設が建物・設備の更新や大規模改修の時期を迎えようとしており、限られた財源の中での老朽化対策は多額の費用が必要となる。これまでの手法から計画的な予防保全にシフトし延命化を図るために、適正な維持保全の方向性を検討すべく各施設ごとの具体的な今後の計画(長寿命化計画)を策定した。財政支出の縮減と事業費の平準化が図られる。 ・青少年の健全育成については、全国的にスマホやSNS利活用に関する問題が山積している。本市においても関係団体と連携して環境浄化に努めながら非行防止への取組を進めるとともに、併せて体験型学習活動も行っていく。 ・年度末以降、新型コロナウイルス感染症の防止対策のため各種行事等の実施ができない状況が想定される。

施策マネジメントシート ～2019年度の振り返りから2020年度の取組へ～

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講座開設事業については、令和元年度は前年度同様12講座を開設した。延べ195人の市民が受講し、そのうち延べ153人が7割以上の出席により修了することができた。また、短期講座を開設したことで、参加しやすく充実した活動ができたこと、子育て世代の受講者から好評であった。 ・家庭教育支援事業については、各家庭教育学級に対し年間3万円の学級開設に伴う委託料を支給することで、各学級が創意工夫を凝らした充実した運営が展開された。また、今年度の家庭教育講演会は、市民生活課と合同で、子どもの人権問題を重点項目とし、人権尊重の重要性と発達段階における家庭教育の在り方などについて学習し、家庭教育の充実化を図ることを目的に「じんけんフェスタ」を開催した。参加者からは貴重な講演だったとの評価をうけた。 ・ふるさとまなび～隊開催事業は、小学3年生以上の児童を対象に、異年齢との自然や文化を活かした体験学習を実施している。平成30年度から参加募集の在り方を見直した(毎月の活動ごとに募集)ことで、多くの児童に参加の機会が与えられ好評を得た。子どもたちの社会性や自立心を養っていききたい。 ・社会教育施設を対象に、現地調査等を踏まえた老朽化状況の把握・評価を行い、保全優先度を勘案して、今後の適正な維持保全の方向性を検討するための社会教育施設長寿命化計画(施設個別計画)を策定した。
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講座開設事業については、受講生の固定化や指導者の高齢化等が課題となっている。人材育成のための研修の場を提供していく。また、市民講座から自主講座への移行を促していく。 ・成人式の在り方については、県内19市の社会教育課長会で引き続き協議していくこととなっている。 ・移動図書館車が、6月から7月まで修理対応のため運行できなかった。車内の電気系統の故障によるものであり、定期点検をしながら運行に支障がないよう努めていく。 ・城ノ浜公園へ下っていく左側ガードレールの腐食及び勤労青少年ホームの1階運動室の床のたわみ部分や玄関入り口のドアについては、安全性を確保する観点から緊急性を要する。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯各時期に応じた学習メニューを把握するためアンケートを実施していく。また自主講座への移行について積極的に支援していく。 ・社会教育関係団体の決算書等を参考に現状把握に努めるとともに、補助金の使途について精査していく。併せて、研修会等への参加要請をしながら、引き続き指導者や後継者の人材育成を図る。 ・成人式の開催については、県内19市及び近隣町の動向も参考にしながらも、法改正により影響を受ける市民がどう考えているか、意見を伺う必要もある。離島という環境の中、新成人にとって久しぶりに再会する成人式であることから、例えば「20歳を祝う会」などとして実施するのかどうか検討していきたい。 ・ふるさとまなび～隊開催事業(年間計画10回実施)については、現状の募集体制を維持する。異年齢による自然体験や宿泊体験等を通して豊かな心とたくましく生きる力を育む。 ・児童生徒のスマホやSNS依存による影響など、家庭教育学級においても議題として取り上げ情報共有していく。 ・市立図書館の在り方について検討する。 ・社会教育施設の長寿命化計画(施設個別計画)の策定に伴い、現施設の劣化状況等、健全度の判定の目安が示された。市総合管理計画や第6次長期振興計画、財政計画等との整合性も図りながら、実効性の高い計画とするため、必要に応じて見直しを行っていく。また、安全性・緊急性には十分に配慮しながら、随時修繕等を行っていく。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	<p>【教育振興部会】</p> <p>○施策担当課の記載する方向性のとおり。</p>